

事案名	水戸市の事案（茨城県 8 1）
分類	廃棄・遺棄 現在の状況
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「旧軍毒ガス等の全国調査結果報告（案）」〔 1 〕</li> <li>・証言〔 2 〕</li> <li>・証言〔 3 〕</li> <li>・「『旧軍毒ガス弾等の全国調査』のフォローアップ調査の再調査について（報告）」平成 1 5 年 1 0 月 1 4 日〔 4 〕</li> </ul>
資料内容概要	<p>茨城県水戸市において、終戦当時、東部 3 7 部隊が練兵場内で教育用イペリットなど少量を焼却したとある。また、塹壕に毒ガスを埋めたとの証言がある。</p> <p>廃棄・遺棄情報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 2 0 年 8 月に東部 3 7 部隊が練兵場で教育用イペリットなど少量を焼却したとしている〔 1 〕。</li> <li>・旧軍関係者（元東部 3 7 部隊員、匿名）の証言として、「終戦当時、連兵場内の塹壕に毒ガスを埋めたことがある」と記載されている〔 2 〕。</li> <li>・旧軍関係者（元兵士）の証言として、「東部 3 7 部隊（水戸歩兵第 2 連隊）では、練兵場内にあったガス室で毒ガスの訓練が行なわれていたが、使用していた毒ガスは催涙ガスのみで、イペリットなど危険性の高いものは使用していない」と記載されている〔 3 〕。</li> </ul> <p>現在の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・陸軍練兵場跡地は、昭和 2 9 年に茨城県が公園を整備し、公園周辺は住宅地になっている〔 4 〕。</li> </ul>